



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年8月8日

上場会社名 マイクロ波化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 9227 URL https://mwcc.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 吉野 巖
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 田中 健作 TEL 06-6170-7595
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
四半期決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	102	△34.8	△169	-	△170	-	△184	-
2023年3月期第1四半期	157	-	△36	-	△65	-	△66	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△12.01	-
2023年3月期第1四半期	△4.90	-

(注) 1. 2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2023年3月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,897	1,530	52.8
2023年3月期	3,077	1,706	55.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,530百万円 2023年3月期 1,706百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,846	51.9	40	△32.0	33	27.8	89	18.9	5.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	15,382,400株	2023年3月期	15,357,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	15,362,026株	2023年3月期1Q	13,592,890株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

製造業の中でも化学産業は、原料や素材を担う産業として経済の発展を支えてきました。しかしながら、多くの製品や製法にイノベーションが起こる中、同産業は長きにわたってその登場からほとんど姿を変えておらず、現在も未だ重厚長大のエネルギー大量消費型のプロセスが多く残っています。

当社は、「何を作るか」ではなく「どのように作るか」に着目し、製造プロセスを化石資源由来の「熱と圧力」から電気由来の「マイクロ波」に置き換えることで、「省エネルギー」・「高効率」・「コンパクト」な環境対応型プロセスのグローバルスタンダード化を目指す技術プロバイダーです。

当社は、「デザイン力」及び「要素技術群」からなる技術プラットフォームを駆使して、顧客課題に応じて、ラボ開発、実証開発といった研究開発フェーズから、実機製作、製造支援といった事業フェーズまでをワンストップでソリューションとして提供しております。現在では、食品添加物、医薬品、炭素素材、電子材料などの幅広い分野において研究開発のパイプライン拡充及び積極的な事業開発活動を行っております。

クリーンテック・グリーンケミカル分野においては、2020年10月、臨時国会で「2050年カーボンニュートラル」が宣言されたことを受け、経済産業省により2兆円のグリーンイノベーション基金が造成されるなど、二酸化炭素排出の削減を経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援を行う機運が高まっております。

当社が研究開発を進めるマイクロ波プロセスは、化石資源ではなく電気由来であり、「内部加熱」「選択加熱」「急速加熱」などの特徴により効率的なエネルギー伝達を可能とするマイクロ波を利用することで、化石資源を利用している従来プロセスと比較して、大幅な二酸化炭素削減が可能であるため、近年、カーボンニュートラル実現に向けた有望なキーテクノロジーとして注目されております。

とりわけ、廃プラスチックを基礎化学原料へ戻してから再重合し新品同様のプラスチックを再生産する「ケミカルリサイクル」の領域においては、マイクロ波を活用したプラスチック分解技術プラットフォームである「PlaWave」を積極的に展開し、多種多様なプラスチックを対象とした共同開発を、複数の化学企業と行っております。

また、このほか、当第1四半期累計会計期間においては、電気自動車（EV）の電池等に使われるリチウムについて、その製錬におけるCO2排出の主要因となっている煅焼のプロセスを電化し、環境負荷の低い、世界初となるマイクロ波を利用した製錬技術を確立すべく、パイロット実証を開始しました。

このように、既存の開発案件を着実に進めつつ、新領域の開発案件獲得にも積極的に取り組んだ結果、当第1四半期会計期間末時点では、新規案件獲得数は通期計画28件に対して10件、契約済みの案件総数は通期計画65件に対して31件（うち10件は当第1四半期累計期間に売上計上）となりました。以上の結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高102,655千円（前年同期比34.8%の減少）、営業損失は169,159千円（前年同期は36,053千円の営業損失）、経常損失は170,044千円（前年同期は65,948千円の経常損失）、四半期純損失は184,476千円（前年同期は66,660千円の四半期純損失）となりました。

また、当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は2,897,385千円となり、前事業年度末に比べ180,014千円減少しました。これは主に、仕掛品が68,111千円増加したのに対し、売掛金が243,127千円減少したことによるものであります。

負債合計は1,366,460千円となり、前事業年度末に比べ4,893千円減少しました。これは主に、契約負債が67,760千円増加したのに対し、買掛金が27,091千円、未払法人税等が22,445千円、その他流動負債が18,132千円、リース債務が4,984千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は1,530,925千円となり、前事業年度末に比べ175,120千円減少しました。これは、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,678千円増加したのに対し、利益剰余金が184,476千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要になった場合、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246,269	1,234,134
売掛金	336,689	93,562
仕掛品	34,358	102,470
その他	288,463	294,220
流動資産合計	1,905,781	1,724,387
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	335,309	330,325
その他(純額)	315,676	325,843
有形固定資産合計	650,985	656,168
無形固定資産	10,357	9,125
投資その他の資産		
関係会社株式	319,444	319,444
その他	190,831	188,259
投資その他の資産合計	510,275	507,704
固定資産合計	1,171,618	1,172,997
資産合計	3,077,400	2,897,385

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,958	38,866
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	27,506	5,060
契約負債	407,850	475,610
その他	144,667	126,534
流動負債合計	845,981	846,071
固定負債		
長期借入金	210,000	210,000
リース債務	315,373	310,389
固定負債合計	525,373	520,389
負債合計	1,371,354	1,366,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,801,053	2,805,731
資本剰余金	502,607	507,285
利益剰余金	△1,597,614	△1,782,091
株主資本合計	1,706,045	1,530,925
純資産合計	1,706,045	1,530,925
負債純資産合計	3,077,400	2,897,385

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	157,322	102,655
売上原価	20,411	22,561
売上総利益	136,910	80,093
販売費及び一般管理費	172,964	249,252
営業損失(△)	△36,053	△169,159
営業外収益		
受取利息	—	39
受取褒賞金	1,000	407
為替差益	—	577
その他	27	5
営業外収益合計	1,027	1,030
営業外費用		
支払利息	1,965	1,916
上場関連費用	28,955	—
営業外費用合計	30,921	1,916
経常損失(△)	△65,948	△170,044
特別損失		
固定資産除却損	0	11,000
特別損失合計	0	11,000
税引前四半期純損失(△)	△65,948	△181,044
法人税、住民税及び事業税	712	712
法人税等調整額	—	2,719
法人税等合計	712	3,432
四半期純損失(△)	△66,660	△184,476

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。